

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る重要情報シート（個別商品編）

1．商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	スマート・ファイブ（１年決算型）・証券投資信託
組成会社（運用会社）	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 ※2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」へ社名変更しました。
販売委託元	アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社 ※2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」へ社名変更しました。
金融商品の目的・機能	主として、日本を含む世界の債券、株式、不動産投信、金上場投信などに投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざします。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方。
パッケージ化の有無	当商品は複数のファンドを組み入れるファンド・オブ・ファンズ（FOFs）ですが、投資先のファンドを個別に購入できない場合があります。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

（質問例） あなたの信用金庫が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2．リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主に債券、株式、不動産投信および金上場投信を実質的な投資対象としますので、債券、株式、不動産投信および金上場投信の価格の下落や、債券、株式、不動産投信および金上場投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産および金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。 投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】 ※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
〔参考〕 過去１年間の収益率	13.6% （2026年4月末現在）
〔参考〕 過去５年間の収益率	平均5.0% 最低-6.4%（2022年12月） 最高16.5%（2024年10月） （2021年5月～2026年4月の各月末における直近1年間の数字）

損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面〔交付目論見書〕の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「運用実績」に記載しています。

（質問例） 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3．費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	2.2%（税込）
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	純資産総額に対し年率1.47175%（税抜1.3525%）以内が実質的な信託報酬となります。 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。

上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面〔交付目論見書〕の「ファンドの費用」に記載しています。

（質問例） 私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

当ファンドは無期限です。ただし、繰上償還することがあります。

ありません。

ファンドの規模および商品性格などに基つき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間制限および金額制限を行なう場合があります。

詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「お申込みメモ」に記載しています。

（質問例） 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う費用（運用管理費用（信託報酬））のうち、委託会社から年率0.715%以内（税込み）の手数料を頂きます。これは運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価です。

当金庫と組成会社の間に重要な資本関係等はありません。

当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるような場合はありません。

「利益相反管理体制の概要」を当金庫ホームページに公表しています。

https://www.tamashin.jp/policy/taisei_gaiyo.html

（質問例） あなたの信用金庫が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの信用金庫やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの信用金庫やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの信用金庫では、どのような対策をとっているのか。

6. 租税の概要（NISA（つみたて投資枠/成長投資枠）、iDeCoの対象が否かもご確認ください）

個人投資家の場合、分配時および換金時・償還時に、所得税および地方税がかかる場合があります。なお、NISA（ニーサ）をご利用の場合、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。この商品は、成長投資枠の対象です。つみたて投資枠、iDeCoの対象ではありません。

詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「税金」に記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当 Web サイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

【当金庫が作成した「契約締結前交付書面」】

当金庫webサイトには掲載されておりません。お手数ですが、お取引店の担当者またはコールセンターにご連絡ください。

・組成会社が作成した「目論見書」

<https://www.amova-am.com/api/reports/prospectus?fundcode=642061>



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた「契約締結前交付書面」、金融商品の内容等を記した「目論見書」については、ご希望があれば、紙でお渡します。